

**【仮訳】 G7 デジタル・技術トラック 附属書 4**  
**自由でオープンかつ、グローバルで分断がなく、信頼性があり**  
**相互運用可能なインターネットの維持・推進に向けた G7 アクションプラン**

1. 我々は、DFI を共同で推進し、その原則を行動に移すための優先的な場を特定するために協力することを決意する。特に、我々は、国連 IGF2023 京都のような DFI の推進とその原則の実装にマルチステークホルダーアプローチを活用できる方法を模索し、世界中のマルチステークホルダーコミュニティを巻き込むことを約束する。
2. 我々は、関連するインターネットガバナンス団体におけるマルチステークホルダー型の関与を促進し、パートナーである途上国が、インターネットガバナンスに関連する問題、傾向、課題を特定するだけでなく、その関与を高めるためのキャパシティビルディングを奨励することを約束する。特に我々は、若者、女性、少女、LGBTQI+、その他の社会から疎外された人たちのような十分に代表されていないグループの代表を増やすことの重要性を認識している。また、我々は、インターネットをすべての人にとって安全で安心な場所にするためのコミットメントを再確認し、子どもたちがオンラインで十分に守られるよう、オンラインセーフティを推進することを約束する。
3. 我々は、G7 のグローバル・インフラ投資パートナーシップや EU のグローバル・ゲートウェイのイニシアティブなどを通じて、発展途上国や新興国におけるオープンなインターネットの普及と発展に関して協力する。特に、我々は、アフリカで出現しているオープンインターネットの展開とガバナンスの成功した地域主導のモデルを促進するために、アフリカ諸国と発展途上国全体で協力することを決意する。
4. 我々は、インターネットシャットダウン、ネットワーク制限、デジタル監視社会などのインターネットの自由に関する問題に共同で取り組むことを目指す。我々は、同志国、技術的な専門家、市民社会団体、民間セクターと協力し、これらの課題を分析し、可視化し、対処するためのマルチステークホルダーアプローチを再確認する。我々は、フリーダム・オンライン連合やインターネットシャットダウンタスクフォースのようなデジタル権利団体やイニシアティブとの連携を強化する予定である。
5. 我々は、2025 年の WSIS の成果に関する全体的なレビュー（WSIS+20）に向けた前向きなビジョンに取り組み、デジタル協力に焦点を当てた今後の国連プロセスについて議論するためのコンタクトポイント・グループを要請する。我々は、それぞれの国において、グローバル・デジタル・コンパクトと WSIS+20 の検討プロセスに向けて、包摂的なアプローチをとり、マルチステークホルダーコミュニティと強固で継続的な協議を行うことを保障する。これには、今後の G7 会合に併せて開催されるマルチ

ステークホルダーイベントも含まれ、我々は、G7 日本議長の下で開催されるマルチステークホルダーイベントを歓迎する。